

NDE シンポジウム 2019—構造健全性と非破壊評価—

“非破壊試験・計測への ICT / AI の活用”

開催日時：2019年12月2日（月） 13時20分～16時45分（開場 13時）

開催場所：AP 浜松町（東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館地下1F Aルーム）

主催：一般財団法人 発電設備技術検査協会

参加費：無料

【開催趣旨】

設備の安全と信頼を維持し安定的に運転していくためには、溶接継手部を含めた構造物の健全性を確保することが必要不可欠であり、構造健全性を評価する分野と、きずの有無、材質変化や状態を非破壊評価(NDE)する分野の研究者・技術者の緊密な連携が、健全性をより一層確実なものに高めていくことは明らかです。両分野とも最新の技術が検討され、最新知見を反映した技術開発や規格化が進んでいます。両分野の関係者が一堂に会して、研究開発や実機適用事例に係る現状と課題を共通に認識して、研究成果の活用や今後の研究開発の課題・方向性を議論することは、設備の信頼性及び安全性の維持・向上に大きく貢献することが期待されます。

このような趣旨に基づき、「NDE シンポジウム 2019 - 構造健全性と非破壊評価—」を企画しました。両分野の専門家同士の意見交換を通じて、構造物の信頼性・安全性の更なる向上を図る手掛かりとしていきたいと考えます。

【プログラム】

開会の挨拶 13:20～13:30

(一財) 発電設備技術検査協会 理事長 濱谷 正忠

基調講演 13:30～14:15

データ同化による非破壊検査の新たな展開

愛媛大学 大学院理工学研究科 教授 中畑 和之 様

招待講演 14:15～15:00

AI を援用したガイド波計測による配管減肉定量の試み

徳島大学 大学院社会産業理工学研究部 教授 西野 秀郎 様

コーヒープレーク 25分間

成果報告

15:25～15:40 発電技検NDE センターの取り組み

(一財) 発電設備技術検査協会 古川 敬

15:40～16:00 データ活用等による火力発電所の事業運営効率化

(一財) 発電設備技術検査協会 直本 保

16:00～16:20 電磁相互作用を考慮した EMAT による超音波送受信のシミュレーション

(一財) 発電設備技術検査協会 山本 敏弘

16:20～16:40 超音波探傷シミュレーション解析の活用事例

(一財) 発電設備技術検査協会 上山 芳教

閉会の挨拶 16:40～16:45

(一財) 発電設備技術検査協会 常務理事 押部 敏弘

【情報交換会】 17:00～19:00

開催場所：AP 浜松町（東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館地下1F）

会費：2,000円

◆定員：120名

(会場の都合上、定員になり次第締め切らせていただきます。)

◆申込締切：2019年11月25日(月)

◆お申込／お問合せ先

参加申込フォームより必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。

参加申込フォーム

〒230-0044 横浜市鶴見区弁天町14-1

(一財)発電設備技術検査協会 溶接・非破壊検査技術センター 管理グループ
(水野, 三井, 花田)

E-mail:ndecenter@japeic.or.jp TEL:045-511-2751, FAX:045-511-2750,

- ・申込の受付確認をE-mailで配信いたします。配信されない場合は、上記問合せ先までご連絡下さい。
- ・情報交換会へご出席の場合、会費2,000円は会場にて申し受け、領収書を発行させていただきます。
- ・NDT活動の証明書※を発行いたします。ご希望の方はお手数をおかけしますが管理グループ宛にE-mail (ndecenter@japeic.or.jp) をお送り願います。

(※JIS Z 2305 レベル3再認証におけるクレジットシステムに活用される方はご自身で詳細をご確認ください)

◆会場ご案内



- JR山手線・京浜東北線をご利用の場合
「浜松町駅」北出口より徒歩約7分
- 都営浅草線・大江戸線をご利用の場合
「大門駅」A6出口より徒歩約3分
- 都営三田線をご利用の場合
「芝公園駅」A3出口より徒歩約3分
- モノレールをご利用の場合
「浜松町駅」より徒歩約7分

